



令和3年5月8日

デリー日本人会 会員各位
インド日本商工会 会員各位
インド在留邦人 各位

デリー日本人会
インド日本商工会

日本人のインドからの一時帰国にあたって

全インドに組織されている日本人会、商工会（3ページ参照）を代表して、インド在住の40歳代の女性のご逝去されたとの報に接し、心からお悔やみ申し上げます。また、多くの会員の同僚、家族などの悲報に心が痛み、この度のご不幸を乗り越えられる事を心よりお祈りいたします。

5月2日付で外務省から『インド滞在中の皆様への注意喚起（インド国内の医療提供体制のひっ迫）』が発出され、これから一時帰国をされる方も多くなると思います。

一方で、日本においては、インドの感染拡大や医療逼迫状況が連日報道されており、インドから日本への人流についてはその理由に関わらず脅威と感じている方も少なくありません。

インド変異株の脅威論があるなかで一時帰国をされる皆様方におかれましては、インド変異株が日本に持ち込まれた場合の影響力の大きさを鑑み、以下の点をご留意頂きたく、お願い申し上げます。

1. 日本にインド変異株を持ち込んでほならないという高い意識を保つ。
2. そのために、これまで以上に感染防止を徹底する。
3. 一時帰国前は極力、人との接触を自粛し体調管理を徹底する。
4. 帰国時、強制隔離後の自主隔離を徹底する。

また、日本政府でも変異ウイルスの感染者の急増が確認された国・地域からの入国者に対する水際措置について、検討されており、昨日にも、5月10日（午前0時以降）日本帰国後の隔離期間を3日から6日に延長する措置が発表されておりますが、我々の身の安全、インドと日本における感染拡大防止、日本におけるインドからの帰国者を脅威と感じる世論、日印間の運航維持の確保、個人の金銭的負担などの観点から、以下を大使館に申し入れ、政府にて検討いただいていること、併せてご報告させていただきます。厳しい内容も含まれておりますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

1. 隔離期間の妥当性の継続検証（6日からの更なる期間延長含め）
2. 日本におけるインドを脅威と感じる世論を踏まえ専用隔離施設の整備
3. 専用隔離施設での隔離期間が長くなることに対応した環境整備

一方で、今後以下事業を検討しておりますのでお知らせします。

1. 邦人専用のPCR検査の受診環境及び日本政府指定の検査結果証明書を取得できる環境の構築

日本政府及び在インド日本大使館のご支援により、日本への帰国に必要な検査証明書を出国前72時間以内に取得し、スムーズな帰国を支援するために、日本人専用のPCR検査受付窓口を設置し、専用会場に検査医を派遣して受診できる体制を5月中旬に整えることを目指し検討しております。

2. 在留邦人への日本で承認されたワクチン接種について

我々が公式に申し入れる以前から日本政府関係機関に要望を伝えていただいていた日本大使館からは、要望書は直ちに送付したこと、および、現在東京で検討が行われている旨の連絡を受けており、4月末には皆様にご協力いただいた以下のアンケート結果も伝えております。

邦人人数 3125人

接種希望人数 2082人（67%）

全インド 商工会、日本人会 リスト (アイウエオ順)

アーメダバード日本人会

コルカタ日本商工会

コルカタ日本人会

チェンナイ日本商工会

チェンナイ日本人会

ハイデラバード日本人会

バンガロール日本商工会

バンガロール日本人会

プネ日本人会

ムンバイ日本人会

お困りごとなどございましたら、以下までご連絡をお願いします。

デリー日本人会 jimukyoku00@delhinhonjinkai.in

インド日本商工会 jccii@jccii.in

以 上